

ひびき

教育目標「なかよく かしこく たくましく」
一人一人が大切にされる学校・風通しのよい学校—
多治見市立共栄小学校 R6. 10. 31

「運動会」という学校行事は、やっぱり大切!

共栄小学校長 加藤 隆史

10月 19 日(土)、曇り一時雨の予報で天候が心配されましたが、令和6年度の運動会を無事に開催することができました。多くの保護者の皆様、そして学校運営協議会をはじめとする地域の皆様にも子どもたちの生き生きと活動する姿を見てもらうことができました。

さて、学校には様々な行事があります。中でも運動会は体育的行事といわれ、子どもたちの体力や運動能力を高めることが目的の一つです。しかし、9 月から始まった運動会に向けての取組、そして、当日の子どもたちの動きをみていると、子どもたちの成長において重要な意味をもっているものであると再確認できた今年の運動会となりました。それは、以下のような意味をもっているからだとは思います。

1 「がんばる」とか「やりぬく」ことを身をもって知ることができる

「がんばることや最後までやりぬくことが大切」と、言葉では簡単に言うことができます。演技をそるることや、大きな声を出すことで真の意味での「頑張る」「やりぬく」を実体験することができます。

2 「仲間のために」「仲間を思いやる」という優しい心を耕すことができる

取組の中では「学年ブロックで演技を教えたり教えもらったり」「苦しいときに仲間を励ます声をかける」、当日は「学年を越えて仲間を必死で応援する」そんな姿から仲間への優しい心が耕されます。

3 褒められることで「自分のよさ」「仲間のよさ」を認識することができる

仲間はもちろんのこと家族や地域の方々にも上記のような頑張りや優しい姿を見てもらうことができます。それらを褒め価値づけていくことで以前よりも、もっと自分や仲間を好きになることができます。

こうした運動会の教育的意味に期待して、共栄の子どもたちがさらに成長してくれることを願います。



2人の応援団長は見事なリーダーシップでした!



5・6年の係会が運動会の運営を行いました!



団席では学年を越えて仲間を応援し続けました!



1・2年演技 プリンパンパン☆サンバ



3・4年演技 共栄フラッグ 2024 最高到達点



5・6年演技 共栄ソーラン